

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	2単位	実習	平成30年度	通期	4年次
科目名	老年看護学実習Ⅰ（生活の場の変化と健康） Gerontological Nursing Practicum I (Change of Living Style and Health)					
担当教員	◎船瀬孝子 川喜田恵美 菊本由里 伊藤咲 吉村牧子 清水久美子					
目的	介護老人福祉施設や介護老人保健施設または居宅介護施設において、入所または通所サービスを利用している高齢者と家族の生活を支える活動に参加し、福祉と医療チームによる連携・協働と看護の役割について学ぶ。					
目標	1) 介護老人保健施設または特別養護老人ホームの概要と特徴を理解できる。 2) 介護老人保健施設または特別養護老人ホームで生活している高齢者と人間関係を築き、高齢者の生活と健康および健康問題について理解を深めることができる。 3) 高齢者が健康に過ごすための日常的な看護・介護について考えることができる。 4) 認知症を有する高齢者への看護・介護の方法を理解できる。 5) 高齢者の生活を支援する関係職種との連携・協働の実際を理解できる。 6) 老年看護を実践する者として、倫理観を持った態度で取り組むことができる。					
他科目との関連	老年看護学概論、老年看護学実践論Ⅰ、老年看護学実践論Ⅱ、老年看護学実践論Ⅲ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	実習終了時のレポート				
	記録等	日々の実習記録				
	その他	事前学習、実習態度				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	特に指定しない					
参考資料	適宜指示する					
備考 (受講上注意、事前学習等)	実習オリエンテーションは必ず受けて実習に臨むこと。 体調管理を十分に行い受講する。 施設での実習であるため、挨拶、連絡、相談は丁寧に行うこと。 学内演習の時間を活用し、実習をすすめること。					